

編集後記

- 今回のキャッチアップには、東京都下水道局が国土交通省と連携して日比谷交差点付近の浸水対策のために築造している雨水調整池をとりあげました。この雨水調整池の築造には、下水道機構と民間企業とが共同で研究開発した「プレキャスト式雨水地下貯留施設」の技術が採用されています。
- メッセージは、再生水の利用で一躍有名になった香川県多度津町の小國宏町長に「水環境創造事業の思い出」と題してご執筆いただきました。小國町長はこれの中で、「この再生水利用事業を通してよみがえった自然環境は、次世代に引き継ぐことができる大きな財産になった」と省庁の垣根を越えたこの事業のすばらしさを強調しています。
- 今号では、今年の3月に実施された平成19年度下水道新技術研究発表会で、松下和夫京都大学大学院教授が「気候安全保障と環境問題」をテーマに行った講演を新たに編集して掲載しました。松下教授は地球温暖化問題における世界の動向を解説するとともに、今後我が国が取り組んでいかなければならない課題を明確に示していらっしゃいます。是非ともご一読ください。
- また、特集として昨年度に技術評価が完了した国土交通省の「ロータスプロジェクト」の7技術

- について、その概要を紹介しました。下水汚泥の資源・エネルギー利用を低コストで実現するための新技術の数々にご注目ください。また、特集2では、昨年度の建設技術審査証明事業で審査証明が行われた新規16技術の概要を一挙紹介いたしました。管きょ更生工法から雨水貯留システムまで、民間企業の開発した新技術がそろっています。
- エンジニアリングレポートは、地域の実情に合わせた新たな下水道整備手法としての「下水道未普及解消クイックプロジェクト社会実験について」と、SPIRIT21において開発された合流改善施設のうち繊維ろ過技術を使った技術についてさらに研究を進めた「合流式下水道改善のための繊維ろ過技術に関する研究」の二つの共同研究の概要をわかりやすくまとめました。
- トピックスは、沖縄県の宮古島で行われている「糖蜜」を原料としたバイオエタノール生産とE3燃料化の実証実験の現場を取材し、その技術の概要と事業スキームについてご紹介しました。
- ユーザーレポートは、滋賀県大津市の比叡平地区の管きょ整備で活躍する「急勾配管きょ・減勢工」を取材しました。供用開始から今年で9年目となる施設の現況をお聞きしました。(編集委員一同)

表紙の 写真



次世代の新しい技術への期待と本機構の成長を象徴する意味を込めて、子供の写真をシリーズとして紹介しています。写真のお子さんは、香川県多度津町の小國宏町長のお孫さん安西大悟(だいで)くん(5才)と百(もも)ちゃん(3才)の仲よし兄妹です。多度津町を一躍有名にした再生水利用のせせらぎの前に腰掛けて、はにかむように笑う姿が周りの風景にとけ込んでいます。二人とも普段はご両親と一緒に東京の都心住まいですが、夏休みや冬休みには自然がいっぱいあるおじいちゃんのところへ帰って来ます。綺麗な多度津の海で大はしゃぎしたり、野原を駆け回ったりと、おじいちゃんも太鼓判を押すわんぱくぶりですが、故郷の自然を愛する心もおじいちゃん譲りになること間違いなしですね。

題 字 財下水道新技術推進機構会長・葉山莞児
(大成建設株式会社代表取締役会長、(社)日本土木工業会会長)の揮毫によるものです。

季刊 下水道機構情報 Vol. 2 No. 4
2008年4月(春季号)

平成20年4月20日発行 発行者 葉山莞児
編集者 松井大悟
企画者 谷戸善彦

編集委員：栗原 秀人／中里 卓治／鈴木 勇／小野田 吉恭／
目黒 享／鳥海 弘／秋葉 竜大／長岡 英明／後藤 太

発行所 財団法人 下水道新技術推進機構

〒162-0811 東京都新宿区水道町3-1 水道町ビル7階
TEL 03(5228)6511 FAX 03(5228)6512